



READ Me

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

best 5

ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

HOTTEST TOOLS RealPlayer G2 Preview

動作環境

OS : ウィンドウズ95、NT4.0
種別 : 無償配布
配布元 : リアルネットワークス社
関連ページ : <http://www.real.com/>

Win



おなじみのストリーミングコンテンツ再生ソフト「リアルプレイヤー」の最新バージョン「リアルプレイヤー-G2」が登場した。これはリアルネットワークス社の最新ストリーミング配信システム「リアルシステムG2」に対応したクライアントソフトで、現在公開されているのは、ウィンドウズ用のプレビュー版だ。新しくなったリアルプレイヤー-G2では、さらに高画質で高音質の動画が楽しめる。また一段と進化したリアルプレイヤー-G2を早速使ってみよう。

途切れずにストリーミング再生が可能!

リアルプレイヤー-G2ではスマートストリームという技術を使い、1つのファイルでユーザーの回線速度に合わせたデータが自動的に配信されるようになったため、今までのようにユーザー側で回線速度に合わせたファイルを選ぶ必要がなくなった。また、回線が混んでいる場合など、ストリーミングが途切れそうになると自動的に低レートのデータに切り替わるため、ユーザーは常に最適な動画を途切れずに受信できるようになった。

常に最新版を利用できる!

今までのリアルプレイヤーでは、バージョンアップするたびに最新版をダウンロードしなければならなかったが、リアルプレイヤー-G2では自動アップデート機能が装備され、常に最新版のリアルプレイヤー-G2を利用できる。

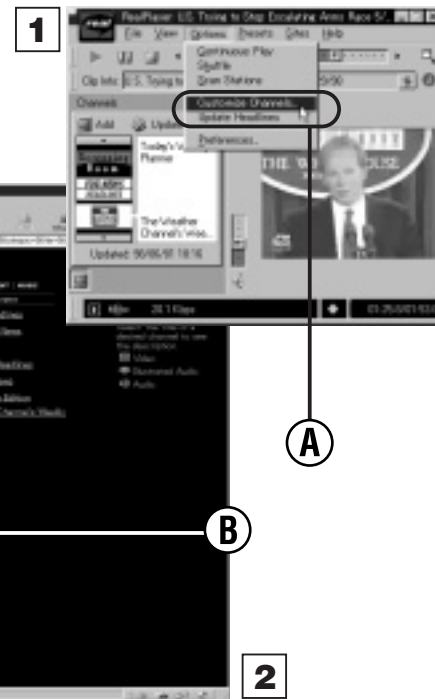
さまざまなファイル形式に対応

リアルプレイヤー-G2では、リアルプレイヤ

ー形式のファイルだけではなく、プラグインを使ってAVIファイルやVivoActive PlayerのVIVファイル、WAVやAIFF、AUといったサウンドファイルも再生できるようになった。また、W3Cが勧告案を公開しているSMILを利用して、ビデオ映像や音声とテキストや画像ファイルをシンクロ表示させることができるようになった。

チャンネルを登録しよう

リアルプレイヤー-G2では、右がムービーウィンドウ、左がチャンネルウィンドウという画面構成になった(画面①)。「Option」メニュー内の「Customize Channels」①を選択すると、WWWブラウザが起動し、チャンネルをカスタマイズできるウィンドウが表示さ



れる(画面②)。ここで、見たい番組を②から選択し、③のボタンをクリックするとリアルプレイヤー-G2のチャンネルウィンドウに反映される。次回からはチャンネルウィンドウを選択するだけですぐにアクセスできるので、お気に入りの番組を登録しよう。

今回のバージョンアップにより、また一段と高画質で高音質になったリアルプレイヤー-G2だが、それにともなって、再生するためにはPentium 100MHz、RAM 16Mバイト以上のスペックのマシンが必要となった。なお、リアルプレイヤー-G2の正式版は今年の夏頃発表になるとのことだ。正式版が発表され次第、「ソフトウェア徹底解説」のコーナーで紹介する予定だ。

HOTTEST
TOOLS

バーチャルペインター Ver.2.40



動作環境

OS: ウィンドウズ95
種別: シェアウェア 3,800円
作者: 梅村高
CD-ROM収録先: Win Virtualp
関連ページ: <http://www.LiveCraft.com/>



バーチャルペインターは、デジタルカメラなどで撮った写真を絵画風の画像ファイルに変換するソフトウェアだ。あらかじめ用意しておいた画像ファイルをバーチャルペインターで読み込み、水彩画や油彩画、色鉛筆画などと指定するだけで、写真を簡単に絵画風の画像ファイルに変換してくれる。入力はTWAIN32に対応しているため、デジタルカメラやスキャナーがTWAIN32をサポートしていれば、それらの機器から直接画像の入力が可能だ。変換



ノートパソコンが普及し、いつでもパソコンを携帯する人が増えてきた。ノートパソコンで、自宅から

する絵画のイメージは、キャンパスの素材やタッチ、色づかいなどを細かく指定できるため、自分好みの絵画を簡単に制作できる。また、Adobe PhotoshopやPaintShop Proに対応したプラグイン版もあり、こちらを使えば、レタッチソフトのプラグインフィルターと

して使うことができる。また、販売を担当している株式会社P&Aでは、このソフトを使った作品を無償でインターネットに掲載するサイトを運営しているため、よい作品ができたなら応募してみよう。(<http://www.vpgallery.com/>)



HOTTEST
TOOLS

KemaNet Ver.1.72



動作環境

OS: ウィンドウズ95
種別: フリーソフトウェア
作者: Nobuhiro Oki
CD-ROM収録先: Win Kemanet
関連ページ: <http://www02.u-page.so-net.or.jp/rb3/nobuoki/dl/>



はダイヤルアップルーターを使ってインターネットに接続し、会社では社内のネットワーク環境を使ってインターネットに接続しているという人も多いはずだ。しかし、ウィンドウズ95は複数のネットワーク環境を簡単に切り替えることができないため、ノートパソコンを常

に持ち歩いている人は、ネットワーク環境が変わるたびにネットワークの環境設定のウ

ィンドウを開いて、その都度設定を書き換えなければならない。KemaNetは、あらかじめ複数のネットワーク環境を設定しておくことで、そのようなわずらわしい環境設定を簡単に変更することができるソフトウェアだ。DNSサーバーの設定やIPアドレス、ログオンIDなどをあらかじめ複数設定しておき、簡単に切り替えることができるので、ノートパソコンを常に携帯してさまざまなネットワーク環境で利用しているモバイルユーザーに最適なソフトウェアだ。



が変更になり、表示されているアバターをクリックすることで、すぐにそのユーザーの情報を見たり、クリックした相手だけにメッセージを伝えたりといった操作ができるようになった。また、機能も強化され、日本語のインライン入力や3D表示画面のワイド化など、さらに使いやすくなっている。まだ試したことのない人も、新しくなったWorld Chat/J3を使ってチャットをしてみよう。

HOTTEST
TOOLS

Worlds Chat/J3



動作環境

OS: ウィンドウズ95、NT
種別: 無償配布
作者: 凸版印刷株式会社
CD-ROM収録先: Win Wldchat
関連ページ: <http://www.globewarp.or.jp/>



Worlds Chat/J3はアバターと呼ばれるキャラクターを操作して、3Dの画面上を移動しながら他のユーザーと文字による会話を楽しむ3Dチャットソフトだ。サービス開始から早くも2年が経ち、インターネットを使った3Dチャットでは老舗のオンラインサービスだ。ユーザーも35,000人と、3Dチャットでは日本最大規模を誇っている。クライアントソフト、接続

料ともに無料で楽しめる点が人気の理由だろう。そのWorlds Chatが大幅にバージョンアップして、Worlds Chat/J3として公開された。今回のバージョンアップによって、Worlds Chat/J3は、表示色数が増え、さらに表現力が増した。また、インターフェイス

CmdSOHOは、6月号のこのコーナーで紹介したSOHOmanと同じく、NTT-TE東京のMN128-SOHO用のダイヤルアップ接続支援ソフトだ。SOHOmanはウィンドウズ95用のソフトウェアだったが、こちらはマッキントッシュ用のソフトウェアとなっている。ダイヤルアップルーターはTAやモデムとは違い、プロ

HOTTEST
TOOLS

CmdSOHO Ver.1.3.1



動作環境

OS: マッキントッシュPPC、マッキントッシュ68K
種別: シェアウェア 900円
作者: 遠藤茂行
CD-ROM収録先: Mac CmdSOHO
関連ページ: <http://member.nifty.ne.jp/ender/>



バイダーへのダイヤルアップを意識しないで利用するため非常に便利だが、そのため通信代が心配になることがある。また、ダイヤルアップルーターは一定時間通信が行われていないと自動で回線が切断されるが、定額制の

プロバイダーを利用している人は、テレホーダイの時間帯は回線を繋いだ

ままにしておきたいと思うはずだ。そのような人におすすめしたいのが、このCmdSOHOだ。このソフトウェアを使えば、接続や切断を手動で行ったり、タイマー設定で接続や切断を自動化したりできる。また、複数の接続先を簡単に切り替える機能もある。MN128-SOHOを使っているマッキントッシュユーザーは一度試してみよう。





Let's Try!



「便利なソフトがあるみたいだけど、使い方がよくわからない」とか、「英語版のソフトを使ってみたいけど、英語が読めないからちょっと……」などと思っている人はいませんか？ このコーナーでは、そんなあなたのためにフリーソフトウェアやシェアウェアのインストール方法からソフトウェアの活用法までしっかり解説いたします。

今月の徹底解説ソフト

QuickTime 3.0 日本語版

QuickTime 3.0日本語版はMPEG、AVI、MOV、JPEG、BMP、GIFアニメーションなど数多くのファイルフォーマットに対応したマルチメディアコンテンツ再生ソフトです。今回のバージョンでは、ウィンドウズ版とマッキントッシュ版のバージョンが統一され、どちらのプラットフォームでも全く同じように各種ファイルが再生できるようになりました。また、ストリーミング再生に対応するなど、インターネットへの対応も強化されています。

動作環境

OS：ウィンドウズ95、NT4.0、Mac OS 7.6.1以降
 種別：無償配布（Pro版は29.99ドル）
 配布元：アップルコンピュータ株式会社
 入手先 <http://quicktime.apple.co.jp/>

QuickTime 3.0 日本語版の インストール

ウィンドウズ版

1

インストーラーを起動すると「QuickTime 3.0へようこそ」という画面が表示されます。「次へ」をクリックすると、インストール



の画面に移りますので「次へ」をクリックします。

2

ソフトウェアの使用許諾契約が表示されます。特に問題がなければ「はい」をクリックして次に進みます。



3

インストールするソフトウェアを選択します。通常、インストールするソフトウェアは「全て」を選択します。「次へ」をクリックします。



4

QuickTimeはWWWブラウザのプラグインソフトとしても動作します。プラグインをインストールするWWWブラウザを選択して「次へ」をクリックします。



5

プログラムフォルダに登録するフォルダ名を入力します。特に変更する必要がなければ、「次へ」をクリックします。



6

以上でインストールは終了です。「終了」をクリックします。



7

インストールが正常に終われば、サンプルのムービーファイルが起動します。再生ボタンをクリックするとサンプルムービーが再生されます。

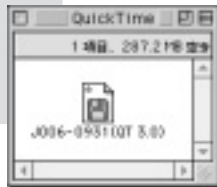




マッキントッシュ版

QuickTime 3.0をインストールするには、Disk Copy 6.1以降が必要です。Disk Copy 6.1以降を持っていない場合は、アップルコンピュータ株式会社のホームページ (http://ftp-info.apple.co.jp/reference/disk_copy613.html) からダウンロードできますので、あらかじめダウンロードしてインストールしておきましょう。Disk Copy 6.1以降がインストールされていれば、上の画面のようなアイコンが表示されますので、ダブルクリックをします。

1



2

「QuickTime インストール」というディスクイメージがデスクトップにマウントされますので、それをダブルクリックします。



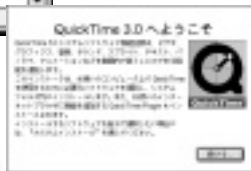
3

「QuickTime インストール」というフォルダーが開きます。インストーラーをダブルクリックします。



4

起動すると「QuickTime 3.0へようこそ」という画面が表示されます。「続ける」をクリックします。



5

ソフトウェアの使用許諾契約が表示されます。特に問題がなければ「同意します」をクリックして次に進みます。



6

インストールするソフトウェアを選択します。通常は「簡易セットアップ」を選択します。インストール先のハードディスクを選択し、「インストール」ボタンをクリックするとインストールが始まります。以上でインストールは終了です。

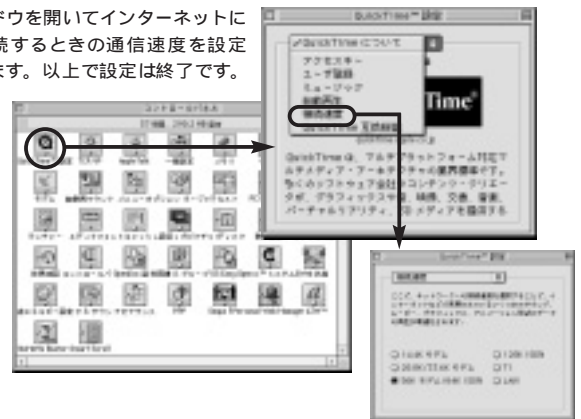


QuickTime 3.0 の設定をしよう

QuickTime 3.0を快適に使うためには、利用しているコンピュータの環境に合わせた設定が必要です。まずは、QuickTime 3.0を使う前に、環境設定をしましょう。

マッキントッシュ版

アップルメニューから「コントロールパネル」「QuickTime設定」の順に選択して「QuickTime設定」を開きます。接続速度のウィンドウを開いてインターネットに接続するときの通信速度を設定します。以上で設定は終了です。



ウィンドウズ版

スタートメニューから、「設定」「コントロールパネル」の順に選択してコントロールパネルを開きます。コントロールパネル内の「QuickTime」をダブルクリックしてQuickTime設定を起動します。「ファイルタイプの関連付け」のウィンドウでビューアーの選択ができます。「Windowsファイルタイプ」や「インターネットファイルタイプ」にチェックを付けると、AVIやBMP、GIF、JPEGファイルなどをQuickTimeを使って開くことができます。「接続速度」のウィンドウではインターネットに接続するときの通信速度を設定します。以上で設定は終了です。





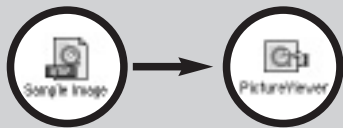
基本操作を マスターしよう

QuickTime 3.0は「MoviePlayer」と「PictureViewer」の2つのアプリケーションとWWWブラウザ用のプラグインソフト「QuickTime Plug-in」で構成されています。まずはそれぞれの基本的な使い方をマスターしましょう。

PictureViewerを使ってみよう

PictureViewerはマッキントッシュでよく使われるPICTファイルやウィンドウズでよく使われるBMPファイルのほか、JPEGファイル、GIFファイルなど、Photoshopファイルなどの画像ファイルを開くことができます。

操作は開きたいファイルをPictureViewerのアイコンにドラッグアンドドロップするだけです。ファイルがPictureViewerに関連付けられていれば、ダブルクリックをするだけでPictureViewerが起動し、ファイルが開きます。



次のページで紹介するPro版にアップグレードをすると、開いたファイルをBMP形式やPhotoshop形式など、別のファイル形式で保存することができます。

QuickTime Plug-inを使ってみよう

QuickTime Plug-inはWWWブラウザでQuickTimeムービーやQuickTimeVRを再生するためのプラグインソフトです。ウィンドウズ版、マッキントッシュ版ともにQuickTime 3.0をインストールすると、WWWブラウザのプラグインフォルダーに自動的にインストールされますので、すぐにWWWブラウザでQuickTime Plug-inに対応したページを楽しめます。



QuickTime 3.0はインターネットへの対応が強化されました。QuickTimeムービーをダウンロードしている最中に再生が始まるFirstStart機能が搭載されたので、ダウンロードが完了するまで待つ必要がなくなりました。また、QuickTimeファイルにURLを埋め込めるようになったため、再生中のムービーをクリックして次のページを表示させたり、ムービーを再生しながら関連のあるページを自動的に表示したりといったことができます。



QuickTimeVRでは最初にサイズの小さいモノクロデータをダウンロードして全体像を表示させてから、次にサイズの大きいカラーデータをダウンロードして表示するといった方法が使えるようになったため、ダウンロードがすべて終わるまで何分も待つことなく、すぐにQuickTimeVRを使ったコンテンツを楽しむようになりました。

MoviePlayerを使ってみよう

MoviePlayerはQuickTimeムービーやウィンドウズのAVIファイル、MPEGファイルなどの動画ファイルとWAVファイルやAIFFファイル、MIDIファイルなどのサウンドファイルを再生できます。



MoviePlayerにファイルが関連付けられているファイルはこのようなアイコンになります

開きたいファイルをMoviePlayerにドラッグアンドドロップします。ファイルがMoviePlayerに関連付けられていれば、ダブルクリックをするだけでMoviePlayerが起動し、ファイルが再生されます。





さらに高度な使い方をマスターしよう

QuickTime 3.0はアップルコンピュータのホームページからアップグレードキーを購入することによってQuickTime 3.0 Proにアップグレードできます。QuickTime 3.0 Proを使うと、ムービーの編集機能やフルスクリーン表示が利用できるようになります。

QuickTime 3.0 Proにアップグレードしよう

QuickTime 3.0からQuickTime 3.0 Proにアップグレードするには、アップルコンピュータのホームページ(http://quicktime.apple.co.jp/sw/upg_pro.html)からクレジットカードを使ってアップグレードキーを購入します。



購入したアップグレードキーはQuickTime設定の「ユーザー登録設定」に入力します。購入の際にメールで送られてくる名前とユーザー登録番号を入力します。



購入は米アップルコンピュータ社のホームページで行うので、住所や名前などを英語で入力しなければなりません。入力方法を説明した日本語のページがあるので簡単に購入できます。アップグレードキーはメールで送られてくるので、メールアドレスは間違えずに入力しましょう。

QuickTime 3.0 Proを使ってみよう

QuickTime 3.0 Proにアップグレードをすると、MoviePlayerを使ってムービーの編集やフルスクリーン表示、ムービーにエフェクトをかけることが可能になります。Proだけの機能を使ってみましょう。



QuickTime 3.0



QuickTime 3.0 Pro

QuickTime 3.0 Proにアップグレードすると、ファイルメニューや編集メニューの項目が増えます。さっそくムービーの編集を試みましょう。

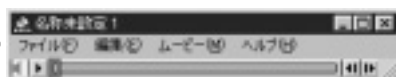
ムービーの編集

- ① MoviePlayerで編集したい素材映像をMoviePlayerで開き、シフトキーを押しながら画面下のスライダーをドラッグして必要な部分を選択し、編集メニューでコピーをします。
- ② ファイルメニューから「新規」を選択し、新しいウィンドウを開きます。
- ③ 編集メニューから「ペースト」を選択するとコピーした素材映像が簡単に挿入できます。素材映像から必要な映像を次々とコピーアンドペーストすれば編集の完成です。



①

②



③



エフェクトをかける

エフェクトをかけたいムービーをMoviePlayerで開き、ファイルメニューから「書き出し」を選択して「オプション」を選ぶと、特殊効果を設定するウィンドウが開きます。ここでほかしやエンボスといった特殊効果を設定できます。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp